

東洋大学硬式野球部グラウンドにてオープン戦



8月6日、気温37度の猛暑の中、日本ワイパブレイド様とオープン戦を行った。人工芝という事も有り、グラウンド上の気温は40度の超になっていたが試合前ノックも混合で行い、野球を通じて懇親を深めさせて頂いた。結果は1-7で負けとなったが9月から始まる本大会に向け、各々課題が見つかる試合となった。守備面では送球ミスが目立ち失点の原因となった。打撃も安打は出ているものの繋がるものは9月の本大会では各自の奮起が期待される。

生涯青春 暑いオープン戦に負けません

御礼

野球部発足後、初めてお客様との練習試合を行わせて頂きました。40度の超の猛暑の中、ウォーミングアップを全体ですっかり行うなど、纏った活動について、見習わなければと勉強させて頂いた一日となりました。日本ワイパブレイドの皆様、誠に有難うございました。



全面人工芝に照明設備
グラウンド全景



12年前は全面土のグラウンドでバックスタンドは無く、プレハブ小屋だった。久々にグラウンドに降り、ホームベース付近に立つとグラウンドの表面は変わっているが、背景に変わりは無い。不思議と当時の苦しい思い出が蘇らなかった。良い思い出が無い4年間だった。母校のO田は社会人野球に携わらない限り、ここでもまたプレーする事は基本的に無い。大学関係者の皆様、大変お世話になりました。

(前島)